

科目名		救急処置	教員名	永井 智	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	演習	オフィスアワー	月3 A304研究室	
授業概要		スポーツ現場における救急対応を行ううえで必要となる救急蘇生法、スポーツ外傷における救急処置、重症度の判断などを講義し、スポーツファーストエイダーとしての役割を十分に果たせるように学習する。							
目的・目標		救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、法的留意点について説明でき、JSPO-ATの役割における救急対応が実践できる。							
準備学習		毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	スポーツ現場と救急対応		到達目標：スポーツ現場における救急対応の実際とJSPO-ATの役割における救急対応の必要性、目的、範囲、法的留意点について説明できる。 学習内容：スポーツ現場における救急対応の重要性やその体制構築におけるJSPO-ATの役割について学習する。					
	2	救急対応の考え方		到達目標：救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、基本的な留意点について説明できる。また、ファーストレスポnderの役割について理解する。 学習内容：救急対応の重要性や実施者の心得について学び、救急対応の基本的な留意点について学習する。					
	3	スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順		到達目標：事故発生時の一連の初期評価の手順が説明でき、JSPO-ATの役割における救急対応が実践できる。 学習内容：緊急事態が発生した際の対応方法や適切な救急対応の手順を学習し、緊急性を判断するための的確な方法とその後の対応について実践する。					
	4	体位管理と保温		到達目標：重傷度に応じた体位管理・保温管理が実践できる。 学習内容：体位・保温管理における留意点と手順を確認し実践する。					
	5	搬送法		到達目標：重傷度に応じた搬送法が実践できる。 学習内容：搬送法における留意点と手順を確認し実践する。					
	6	スポーツ外傷時の救急対応		到達目標：スポーツにおける脳振盪に対する救急対応を実践できる。 学習内容：脳振盪の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	7	スポーツ外傷時の救急対応		到達目標：スポーツにおける脳振盪に対する救急対応を実践できる。 学習内容：脳振盪の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	8	スポーツ外傷時の救急対応		到達目標：頭部・頸部・脊椎における重傷外傷への救急対応を実践できる。 学習内容：頭部・頸部・脊椎における重傷外傷の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	9	スポーツ外傷時の救急対応		到達目標：頭部・頸部・脊椎における重傷外傷への救急対応を実践できる。 学習内容：頭部・頸部・脊椎における重傷外傷の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	10	スポーツ外傷時の救急対応		到達目標：スポーツにおける特殊な外傷への救急対応を実践できる。 学習内容：スポーツにおける特殊な外傷の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	11	内科的疾患に対する救急対応		到達目標：心停止に対する救急対応を実践できる。 学習内容：心停止の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	12	内科的疾患に対する救急対応		到達目標：心停止に対する救急対応を実践できる。 学習内容：心停止の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	13	内科的疾患に対する救急対応		到達目標：労作性熱中症に対する救急対応を実践できる。 学習内容：労作性熱中症の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	14	内科的疾患に対する救急対応		到達目標：労作性熱中症に対する救急対応を実践できる。 学習内容：労作性熱中症の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
	15	内科的疾患に対する救急対応		到達目標：スポーツ活動時にみられる内科的疾患に対する救急対応を実践できる。 学習内容：スポーツでよく見られる内科的疾患の病態と医学的留意事項、救急対応の手順を確認し実践する。					
成績評価の方法・基準		実技試験（50%）+筆記試験（50%）※対面・オンライン共通							
教科書		アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻救急対応						公益財団法人 日本スポーツ協会	
参考図書									
教員からのメッセージ		(公財)日本スポーツ協会アスレティックトレーナー(JSPO-AT)の資格取得に必須の科目であり、授業内容はかなり専門的内容となります。授業内容を理解するためにも予習・復習が大切です。 JSPO-ATとして登録・認定後5年を経過している教員がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							